

伊藤雅風展 急須愛  
二〇一八年十二月十五日(土) ～二十五日(火) 会期中無休



藻掛平丸急須  
胴径 11 cm (把手、注ぎ口含まず) ・高さ 7cm ・容量 250cc



黒梨皮急須  
胴径 9cm (把手、注ぎ口含まず) ・高さ 9cm ・容量 250cc



窯変茶鉢  
胴径 8cm (把手、注ぎ口含まず) ・高さ 5cm ・容量 100cc

料金後納  
ゆうメール



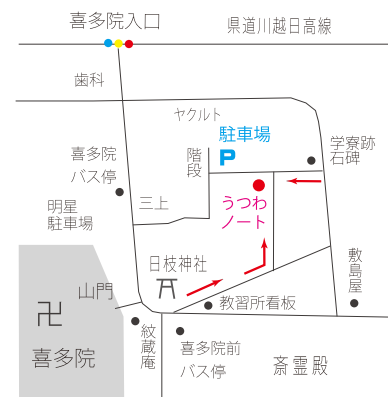
茨廻間土急須  
胴径8.5cm(把手、注ぎ口含まず)・高さ9.3cm・容量220cc



本朱泥急須  
胴径7.8cm(把手、注ぎ口含まず)・高さ7cm・容量160cc



藻掛茶銚  
胴径8.5cm(把手、注ぎ口含まず)・高さ8cm・容量170cc



ギャラリー うつわノート  
埼玉県川越市小仙波町1-7-6  
TEL 049-298-8715  
MAIL utsuwanote@gmail.com

電車：川越駅(東武東上線・JR)より徒歩25分  
本川越駅(西武新宿線)より徒歩20分  
バス：駅東口3番乗場[小江戸名所めぐり]～[喜多院前]  
駅西口2番乗場[小江戸巡回バス]～[喜多院]  
車：ギャラリー専用駐車場3台分有

1988年 愛知県常滑市に生まれる  
2007年 常滑高等学校セラミック科卒業  
2009年 村越風月氏に師事  
2011年 名古屋造形大学産業工芸コース卒業  
2012年 独立  
2018年 現在、愛知県常滑市にて制作

伊藤雅風展 急須愛

二〇一八年十二月十五日(土)～二十五日(火) 会期中無休  
営業時間 十一時～十八時 作家在廊日 十二月十五日(土)・十六日(日)

愛知県常滑の急須作家・伊藤雅風さん。その急須から注がれるお茶を見ていると、水流の美しさからまるで音楽が聴こえてくるような心地良さがあります。それは雅風さんの徹底した急須造りから成されます。知多半島の原土を中心に半年間から1年ほど水箒を繰り返してきめ細かく濾した後、さらに1年寝かせます。そうして灰汁抜きした土を丁寧にろくろ挽きします。常滑は朱泥急須をはじめとする産地で知られていますが、土造りから取り組む人は減っています。焼成は釉薬をかけずに焼く。お茶の味を良くするためです。急須はパーツが多く陶芸家にとって力量の問われるアイテムですが、雅風さんの技術は実物を見れば納得するはず。斯様に造りも機能的も優れた急須ですが、それ以上に感心するのは、麗しき姿に備わった品格です。行きつく先は、外形を超えた抽象的な感性の世界に誘われるのです。使う人の意識を高めてくれ、所有する喜びの湧く急須と言えましょう。今回2年の歳月をかけた急須を用意してくれます。煎茶や中国茶用の急須・茶銚・蓋碗・絞り出し・宝瓶。素材や仕上げも炭化、朱泥、梨皮、黄泥、窯変、紫泥、烏泥と豊富。作り貯めた急須は、どれひとつとして同じものはありません。周辺の道具(茶杯、茶托、湯冷し、茶海、蓋置、茶心壺、棗、茶漏、茶舟、建水)も併せて出品します。ひたすら良い急須を目指して。ひたすら美味しいお茶を飲むために。溢れる愛情が無ければ、ここ迄掘り下げられないでしょう。わずかしが行わない雅風さんの個展。その全容が見れる貴重な機会です。お見逃しのないことをお勧めします。 店主

東京・青山の「櫻井焙茶研究所」の櫻井真也さんに、伊藤雅風さんの急須を使ったお茶会をお願いしました。美しいお茶と道具による贅沢な時間です。皆様のご参加をお待ちしております。

場所：ギャラリーうつわノート 埼玉県川越市小仙波町1-7-6 1階和室  
日時：12月16日(日) ① 11:30～12:30 ② 13:30～14:30 ③ 15:30～16:30 (所要時間：60分)  
人数：各回 6名様  
料金：お一人様 6,000円  
内容：お茶(櫻井焙茶研究所)とお菓子(菓子屋このつ)を愉しむ会  
予約：「雅風茶会」を題名に、お名前、ご希望時間、人数、当日の連絡先(携帯電話)を書いてメールでお申し込みください。先着順となります。(一回に2名様以上の場合は調整させて頂く場合があります)  
宛先：utsuwanote@gmail.com (携帯メールの場合、PCからの返信を受けつける設定にしてください)